

ある教育課程を編成・実施し、各教科等の指導にあたることが重要でありますことから、教育委員会といたしましては、各学校に対して、新学習指導要領の趣旨や内容を踏まえて、確かな学力の育成を図るよう指導してまいります。

また、平成20年度に町内教職員による「日高町学力研究協議会」を組織し、町内各学校における子どもたちの学力の実態や課題解決を目指し、2年間にわたる研究協議の結果を「研究協議報告書」としてまとめられたことを受け、各学校における学力向上の取り組みの参考や活用されることを期待しているところであり、ます。

◎国際理解教育

国際理解教育につきましては、2名の英語指導助手を小・中学校に計画的に派遣し、小学校の外国語活動や中学校の英語指導の充実を図るとともに、異文化理解や国際性の育成に努めてまいります。

◎情報教育

情報教育につきましては、情報通信技術（ICT）を活用した多様な学習方法の工夫により情報活用能力を育成するとともに、情報モラルの向上に努めていきます。

◎学校経営

学校経営につきましては、公教育としての使命感を持って、積極的に保護者や地域住民の意見を聞くなど、校長のリーダーシップと責任のもとに地域の教育機関としての役割を果たすよう、学校経営の充実をめるとともに、地域から信頼される特色ある教育活動を推進し、児童生徒の「生きる力」の育成に努めます。

また、学校の自主性・自立性を生かしながら、教育活動の成果について内部点検や自己評価を行うことで改善・充実に努めるとともに、学校関係者評価を学校経営に生かすなど、開かれた学校づくりの推進に努めます。

◎学習指導

学習指導につきましては、本年4月に実施された「全国学力・学習状況調査」において、学力は学校だけでなく、家庭・地域の生活環境が子どもたちの学力形成に大きな影響を与えていることが明らかになりました。教育委員会といたしましては、このことを真剣に受け止め、基本的な生活習慣の確立を図るとともに、児童生徒に自ら学ぶ意欲や自ら考え、判断し、表現する力を育てる目標や内容を明確にした指導計画の充実に努めます。

また、児童生徒の健康管理につきましては、健康の大切さを教え、明るく充実した学校生活を送れるよう、健康診断等の実施と受診率の向上を図り、疾病の早期発見と適切な事後指導に努めてまいります。

◎生徒指導

生徒指導につきましては、家庭や地域との連携・協力のもとに基本的な生活習慣の確立を図り、児童生徒一人一人のよさや可能性を引き出すとともに、自己実現できる資質や能力を育てる生徒指導の充実に努めます。

◎健康・安全指導

健康・安全指導につきましては、その正しい知識や判断

力を身につけるとともに、自らが自他の生命を尊重し、体力の向上や健康で安全な生活を送る態度を育む指導を徹底します。また、家庭や地域、関係機関や団体と緊密な連携のもとに、危機管理の徹底と教育の推進に努めます。

また、児童生徒の健康管理につきましては、健康の大切さを教え、明るく充実した学校生活を送れるよう、健康診断等の実施と受診率の向上を図り、疾病の早期発見と適切な事後指導に努めてまいります。

◎進路指導

進路指導につきましては、児童生徒一人一人が将来に目的意識を持って、自己実現ができる能力を育むとともに、中学校においては、望ましい勤労観や職業観を身につけ、生徒が自分の特性について認識を深め、将来の生き方を見据えた進路選択能力を育むことができるよう、相談や情報の提供、体験入学の実施に努め、指導の改善・充実を図ってまいります。

◎学校整備

学校施設整備につきましては、各学校の耐震診断結果に基づき、本年度は富川小学校耐震補強工事（繰越明許事業）と日高小学校、門別中学校及び厚賀中学校の耐震化工事実施設計等について検討をしていく予定であります。また、厚賀小学校プール槽防水塗装工事及び富川小学校の教育用コンピュータの更新整備をするほか、引き続き各学校の施設設備の安全点検と補修、理科教材や図書備品の整備など教育環境の整備拡充に努めてまいります。

スクールバスの運行につきましては、本年3月で統廃合した豊郷・清島・賀張小学校のスクールバス新規運行に伴い、4月から全路線を小・中学生混乗による運行を開始したところであり、順調に推移しております。なお、本年度既設路線のスクールバス1台を更新する予定であります。

◎教職員住宅整備

教職員住宅の整備につきましては、本年度富川地区に1棟2戸及び門別地区に2棟2戸の建設を予定しておりますが、今後におきましても老朽化した教職員住宅を計画的に整備し、職員の福利厚生の上と充実に努めてまいります。

高校教育と 産業学習制度

次に高校教育と産業学習推進制度について申し上げます。

高等学校の再編・統廃合、学区の拡大等、道教委が行う適正化計画が進み、又新しいタイプの高校の増加など、高等教育を取り巻く環境は大きく変化しており、このような状況の中で、生涯学習社会における多様なニーズに応える高等教育の機関として、我が町の定時制高校の存在は重要であると認識しております。

◎日高高校

日高高校におきましては、

全国に誇れるユニークで特色ある教育活動として定着した「産業学習推進制度」との連携・融合をさらに進めてまいります。

急速に教育改革が進展し、各高等学校が存続をかけて、生徒や保護者から選ばれる魅力ある学校づくりを目指している状況の中で、日高高校も地域の期待に応えるため、今後とも町立高校として特色ある教育活動の一層の充実に取り組んでまいります。

老朽化する校舎の整備に関しましては、本年度において内部検討チームを設置し、施設管理運営・整備方法等の検討を進めていくことといたしております。

◎産業学習推進制度

教育委員会主催事業としての産業学習推進制度（日高高等学校入学必須条件）は、高校の存続と、多くの体験学習を通してたくましい人格形成が図られる人材育成など、特色ある事業として定着し、地域振興を図る上でも多くの成果を挙げてきたところであります。

高等学校と一体となって、積極的な募集活動を展開した結果、昨年に引き続き本年度も16名、二桁の入学を確保することができました。厳しい状況がさらに続くものと思いますが、今後ともより積極的な広報・募集活動をおこない併せて制度の改革充実に努めてまいります。

社会教育

次に、社会教育について申し上げます。

近年、社会の成熟化、自由時間の増大、少子高齢化等の社会の変化に伴い、潤いと生きがい求められています。

また、時代の生活環境変化に応じた新しい知識・技能を習得するため、町民一人ひとりの生涯学習に対するニーズは、ますます高まりをみせるとともに、多様化、高度化しています。

そのような社会状況の下、町民が生涯の各期において自由に学習機会を選択して学ぶことができ、その成果が適切に評価され学んだことが社会

に生かせるような生涯学習社会の形成をめざして、生涯学習推進体制の整備、学習機会の提供等ができるよう関係機関、団体との連携と協力を得ながら、社会教育の振興、充実に努めてまいります。

◎家庭教育

家庭教育についてですが、家庭は、子どもが人間としての愛情や自らの存在感を確かめながら生活する場として、また、親から子へ、その子から次の世代へと習慣や伝統、文化、生きるうえでの知恵や態度を受け継がれる場として、大切な役割を担っています。

そのために、家族全員が家庭教育の重要性を自覚し協力して子どもの教育にあたるとともに、地域や人々とのふれあいの中で子どもがのびのびと育つことができるよう子どもとの交流や多様な生活体験、自然体験ができる機会の情報を適時、適切に提供して、更なる家庭教育の支援を図ってまいります。

◎青少年教育

青少年教育についてですが、青少年が社会の責任ある一員として成長していく過程では、学校教育において「生きる力」を育むとともに、

地域社会において大人や多様な年齢層の人々と触れあい、また、自然体験をはじめ文化、芸術や科学などに直接触れる体験的な学習活動等を通じて、自らを律しつつ、他人と協調し、他人を思いやる心や感動する心などをはじめとする、豊かな人間性や協調性などを身に付けることが必要であると考えます。このよう

な中、富川地区、門別地区、厚賀地区におきまして「放課後子ども教室推進事業」を本年度も実施してまいります。

また、学校と地域・家庭が車の両輪として、青少年の健全育成を図るために地域住民が学校ボランティアとして活動する「学校支援地域本部事業」につきましても引き続き今年度も、その事業の推進に努めてまいります。